

出前講座「土砂災害の話」

- 開催日時：平成26年10月20日（月）14時00分から14時45分
- 開催場所：一関市立萩荘小学校 多目的ホール
- 参加者：一関市立萩荘小学校 6年生児童 69名

国土交通省岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として出前講座を開催しております。

10月20日（月）、一関市立萩荘小学校で出前講座を開催し、6年生児童69名が参加しました。

講師の調査第一課山影課長からは、日本には自然災害が多いことや、土砂災害には様々な種類がある事、土石流を防ぐために砂防堰堤がある事、そして火山の危険性や天気予報を見ることの重要性についても説明がありました。また、今年7月に長野県南木曾町で発生した土砂災害や、8月に広島市で発生した土砂災害等の被害状況にも触れ、土石流や地すべり等の映像を交えながら土砂災害の怖さを説明しました。

児童の皆さんからは、「台風が来たら天気予報をしっかりと見て、避難警報が出たらすぐに避難所に避難したい」「こまめに天気予報を見ることを意識したい」「災害に対する意識が強くなった」「近所に土砂崩れしそうな所があったので気をつけたい」「災害からどのように身を守るか、自分の住む場所は安全か等を考える良い機会になった」「自分が住んでいる場所の避難場所を覚えておきたい」「理科の授業に凄く役立った」などの感想を頂きました。

今日の出前講座を通じて児童の皆さんは、自分達が住んでいる地域にどのような危険が潜んでいるか、そのためにどのような行動をとれば良いか、天気予報や災害情報をこまめにチェックすることの大切さを学習出来たようでした。



講義をする山影課長と、萩荘小学校6年生児童の皆さん



紙いっぱいメモを取りながら、勉強しました